

# 博士後期課程 コーチング科学学位プログラム

## 養成する人材とディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーの関係

養成する人材

国際的な幅広い視野、高度な専門的かつ実践的能力および高い倫理観を兼備したコーチあるいはコーチデベロッパーとしての資質を有するとともに、コーチング学の研究者として体育スポーツの発展に貢献できる人材を養成する。

例

コーチング学に関する研究者

競技スポーツに関する研究者

コーチ育成者(Coach Developer)

高度なコーチング能力やマネジメント能力を有する上級コーチ

本学大学院学則に規定する所定の年限以上在学し、本学の教育研究の理念と目的に沿って設定した所定の単位を修得し、博士論文の審査および試験に合格した上で、次の能力を有することが認定されたものに博士(コーチング科学)の学位を授与する。なお、博士論文の審査基準については別に記載。

ディプロマ・ポリシー

体育スポーツ科学に関する幅広く、かつ高度な学識

コーチング学に関する高度な専門的知識

体育スポーツ科学あるいはコーチング学の研究者として自立して活動できる高度な研究能力

コーチ育成者としての高度な能力および研究能力

国際社会に貢献する意志とコミュニケーション力

カリキュラム・ポリシー

①体育学研究科共通科目(必修2単位、自由2単位)  
自己の研究テーマをより集中的に実施し、発展させることを目的とし、より高度な研究報告演習(英語によるものを推奨)を行なう。

②専修科目(選択必修4単位)  
コーチング学研究法を学ぶとともに、コーチ育成に関する研究の推進およびコーチ育成者としての能力を身につける。

③研究指導科目(必修6単位)  
研究成果の国内外学術誌への投稿および掲載並びに博士論文の作成に向けた特別研究指導を受ける。

授業以外の活動

学内発表会  
体育スポーツ指導  
調査

論文投稿

計測  
データ分析

勉強会とセミナー

共同研究

国内外の学会発表

他大学連携事業

TA(ティーチングアシスタント)

情報機器の操作

実験